

はくぶつかんネット

平成31年4月～令和元年7月 発行：宜野湾市立博物館



第65号



宜野湾市立博物館開館20周年！

宜野湾市立博物館は、2019(令和元)年6月1日、開館20周年を迎えました。1999(平成11)年に開館し、これまで宜野湾市の歴史・文化・自然について、先人の生活の知恵と工夫を知る市民参画の場として、取り組んでまいりました。市立博物館は、1981(昭和56)年に開館した宜野湾市立郷土資料館が前身になります。当時の資料館は、普天間の旧消防庁舎にあり、後に市民会館2階へと移ります。その頃は生活道具類(民具)を中心に収集し、郷土資料館の発展型として博物館建設が計画され、99年の開館を迎えたのです。



郷土資料館の頃（市民会館2階）

資料館が市民会館にある頃から小学3年生が授業で訪れていました。手狭なスペースに壺や農具、サバニ、仏壇、家の模型などが展示されていました。その分、民具資料を間近で見ることができ、子ども達は資料館担当の説明にメモを取ったり、絵を書いたりしているのが印象的でした。当時の小学生も今では大人です。皆さん、覚えていますか？



20周年記念講演会「琉球王国時代の宜野湾」6/2 宜野湾市中央公民館にて開催しました！多くの方にご来場していただきました。ありがとうございました！



講師：高良倉吉〈琉球大学名誉教授〉



講演会の様子



博物館落成記念式典（1999年）



SINCE 1999

宜野湾市立博物館 春の企画展

移り変わる街の風景

～写真に見る、宜野湾のあの道、この道～

開催しました！



1963年



1970年～80年代



普天満宮前の通り



嘉数高台より望む外人住宅

市立博物館では4月24日（水）～6月2日（日）の期間、「移り変わる街の風景～宜野湾のあの道、この道～」展を開催いたしました。期間中、935の方に展示を見ていただきました。

この企画展は、『市報ぎのわん』で、市史編集担当のメンバーが市史の普及・活用の一環として執筆しているコラム「茶ぐわ～ゆんたく」で、2016（平成28）年5月から2019（平成31）年3月までの約3年間連載した「道シリーズ」をまとめたものです。主に昭和30年代～60年代に撮影された写真とできる限り同じ場所から撮影した現在の風景の写真を比較しました。新旧の写真を見比べることで、人びとが住み良い街にするために道が整備され、街の風景がどのように変化していったのか見えるようにし、その道や地域にまつわるエピソードを交えながら紹介しました。

来館者からは、「今と昔の対比ですごく楽しい。なつかしく思いました。」「市内各所の変貌ぶりに驚いた。非常に面白く勉強になりました。」「宜野湾市の歴史を肌で感じることができた。」などの感想をいただきました。



展示説明会の様子

4月27日（土）には、友の会員向けの展示説明会を行いました！



寄贈・寄託のお願い

風景写真や家族写真など、その時に撮影された「何気ない一枚」でも、時がたてば当時の流行や歴史を知る手掛かりとなり宜野湾市の歴史をまとめた市史を編集する上で貴重な資料となります。みなさんのお家にもそのような写真が眠っていましたら、ぜひ市立博物館へお声掛けください。

沖縄県博物館協会 総会・春の研修会在宜野湾市で開催されました！

5月16日(木)、17日(金)に、沖縄県博物館協会の令和元年度総会と春の研修会が、宜野湾市の真志喜公民館で行われました。

沖縄県博物館協会は、略して「沖博協」と呼ばれています。この組織は、博物館事業の振興と地域文化の向上発展を目的として結成されたもので、67の団体(博物館等)と個人会員が在籍しています。現在、団体会員が2年ごとに輪番制で事務局を務めていますが、今年も昨年度から引き続き、宜野湾市立博物館が事務局を担っています。さらに、今回は春の研修会の担当館(こちらも輪番制)としての役目もあって、今回の総会・研修会は、市立博物館のスタッフが一丸となって運営に当たりました。

さて、13時半から始まった総会は、30分ほどで無事に終了し、14時過ぎからは博物館業務に貢献した方々の表彰が行われました。

閉会後は、春の研修会が行われました。今回は「つながる博物館」をテーマに国立科学博物館連携推進・学習センターの小川義和氏に講演していただきました。「博物館連携協働事業について」では、ご自身が携わった沖縄県での巡回ミュージアムや北海道での研修会の実施等を例に、各博物館や学芸員、学校の先生それぞれをつなげる取組みについて課題や問題点をわかりやすくご説明して頂きました。

次に、沖縄県立博物館・美術館の園原謙氏により「おきみゅーの外部連携事業について」が報告されました。県内外の他館や地域との連携することによって、自館の調査研究の成果をPRすることの重要性を改めて考える場となりました。

翌17日(金)は、市立博物館を出発点として、3つのコースに分かれて巡見を行いました。A、B、Cの3コースに分かれて、察度王ゆかりの地や、大山集落の散策、市内の湧水巡りを行いました。

62名の参加者がコースに分かれて、市立博物館のスタッフの説明を熱心に聞いていました。特に、Aコースの参加希望者が想定よりも多く、スタッフ1人では対応できなくなつたため、さらに2グループに分けて、博物館友の会員である下地昭榮氏に1グループ分の案内をお願いしました。また、友の会の前田真之氏、仲松弥孝氏には、移動中の安全確保にご協力いただきました。

真志喜区自治会のご協力、ならびに市立博物館友の会の方々にも支えられ、2日にわたる全日程は無事終了しました。



総会・研修会の様子



千木良芳範沖博協会長あいさつ



講演する小川 義和氏
(国立科学博物館)



報告する園原 謙氏
(沖縄県立博物館・美術館)



巡見の様子（察度ゆかりの地）



巡見の様子（大山集落）



巡見の様子（湧き水めぐり）

沖縄県地域史協議会・総会・研修会が開催されました！！

2019（令和元）年5月31日（金）、中城村護佐丸歴史資料図書館において沖縄県地域史協議会の総会・第1回研修会が行われ、140名余の地域史編さんに関わる機関や関係者が参加しました。

研修会では午前中に世界遺産の中城城跡を中城村教育委員会の皆さんのがいで巡見しました。特に現在進められている城壁の解体積み直し工事では、15世紀前半の石積みのみに刻印石が確認でき、参加者は興味深く見入っていました。この刻印石は数種類の刻印がありますが、どのような目的で刻印されたのかは分からぬそうです。

午後からは中城村護佐丸歴史資料図書館にて総会と第1回研修会が行われました。

総会では平敷兼哉代表と中城村教育委員会の比嘉良治教育長の挨拶（代読：稻嶺盛昌生涯学習課長）を受け、平成30年度の活動報告や会計報告、令和元年度の予算案や活動報告案が提案されました。また役員改選では、本協議会の運営委員を担い、なかでも協議会をまとめる代表職を宜野湾市史が2カ年間、勤め、この総会・研修会で任期を終える平敷兼哉代表（宜野湾市史）は、年2回の研修会に加えて今年3月に協議会設立40周年記念事業も行い、代表の役目を終えたことで一安心した様子でした。

講演会では中城村教育委員会の渡久地真さんから「発掘調査から見えてきた中城村の歴史」と題して、村内の糸蒲遺跡や新垣上原遺跡、新垣グスクの調査を通して12世紀末から15世紀頃の中城村の歴史の一端を伺える講演でした。次に沖縄県企画部市町村課の山城正也さんから次年度から導入される「会計年度任用職員制度について」の講演が行われました。

前年度の刊行物で編集上、工夫した点や特徴を報告する合評会では、与那原町史の田港千仁さんから『与那原町史 図説編 与那原教育のあゆみ』編集とその経過、沖縄県教育庁の小野まさ子さん、納富香織さんから『沖縄県史 図説編2前近代』の刊行についての報告が行われました。両機関とも図版や写真を多用し、見て楽しみながら学べるような編集を意識したことや、編集担当者によって視点や技術面などの差が見られたこと等の反省点を挙げ、今後、同様なコンセプトで取り組む編さん機関にとって参考となる内容でした。



開催地あいさつ
中城村教育委員会 委員長 比嘉良治



代表あいさつ
地域史協議会代表 平敷兼哉



総会の様子（中城村護佐丸歴史資料図書館3階）



巡見の様子
「有名な廃墟ホテル」こと中城高原ホテルも、これが「見納め」か？！



巡見の様子
石垣（石積み）の改修に向けて、整然と並べられた「石垣」のパツたち。



巡見の様子



ぎのわん市の食堂



今回のがちまやあは1970年代頃のぎのわん市の昔なつかしい食堂について取り上げます。1970年代、およそぎのわん市内には、90店舗以上の食堂がありました(1973年ゼンリン地図より)。その中でも特に普天間だけで35店舗、真栄原14店舗、大山12店舗も営業していたようです。

大山区は、国道58号(旧軍用道路1号線)に面しており中部の中でもいち早く商店街として栄え、商社・家具店・自動車販売・電化製品店・テーラー・食堂・美容室など多くの専門店がひしめきあっていました。客層1970は年代は米軍が主に占め1970年代から県民市民に変わってきました。



大山では終戦直後は、香港・台湾出身の方が経営する店が多くたったよ。しゃれた店では、アメリカンスタイルのピザハウスというレストランがあったよ。

普天間2区には村役場、保健所、郵便局、農協、中部農林土木事務所、水道部、コザ職安主張所、法務局普天間出張所、消防署、電報電話局普天間分局、新聞社支局、銀行などが集中しており、たいへんな賑わいでした。



普天間では食堂の店の数は多かったけれど、利用するお客様の方がとても多くて競争というのはなかったですよ。



真栄原には社交街があり、飲食店も数多くありました。



今は外食産業も増え、家族で気軽に外食できる店もたくさんありますが、1960年代1970年代は、特別な時や街に出かけた時に街の食堂で食べました。食堂で食べる沖縄そばは本当にごちそうで美味しかったのを覚えています。



1973年ゼンリンより

字名	店舗数
新城	2
伊佐	2
大謝名	8
大山	12
我如古	5
宜野湾	4
喜友名	2
志真志	2
野嵩1区	1
野嵩2区	1
普天間1区	5
普天間2区	11
普天間3区	20
真栄原	14
真志喜	2

ここでは1970年代頃より運営している「三角食堂」「みどり屋食堂」について取り上げます。



三角食堂

三角食堂

創業：1965（昭和40）年

普天間りゆうぼう近くに店舗はあります！



店内の各テーブルには、三角食堂とおすすめを楽しく紹介するメニューの冊子が置いてあります。ぜひ手にとってみてください。

昔なつかしいカレーライス・オムライス・肉丼・卵丼や、中味そば・中味汁・ソーキ汁・肉汁・てびちまで、メニューがかなり豊富です。

どちらも創業50年を超える老舗ケロ



美しい桜の木が店先に植えられていて、みなさんもご存じの方が多くいらっしゃるのではないでしょうか。三角食堂は創業1965（昭和40）年、今年で54年目の営業になります。

三角食堂創業当時は、普天間1区2区3区合わせて35店舗以上の食堂が立ち並んでいました。近くには「市役所」「職業安定所」「宜野湾郵便局」「保健所」「中部土木事務所」などたくさんの公的機関があり多くの人びとが普天間に訪れていて、昼は食堂を利用していました。

帰直後やドルの時代は白人、黒人、フィリピン人、琉球人など、とにかくたくさん的人が食堂に来ました。片言だけ英語でやりとりしていたよ。



とてもきれいですね



みどり屋食堂



創業：1967（昭和42）年



店内も広々

みどり屋食堂は創業1967（昭和42）年、今年9月で52年目の営業になります。

創業当初は裁判所の隣に店を構えていました。当時は裁判所と中部商業高校しか建物はなく、一面に畠が広がっていました。今では我如古三差路も十字路になり、建物が増えて、風景はすっかり変わりました。

1970年代のお客様は労務者が多かったよ。今も会社勤めの方が多いけれど、家族連れや観光客も増えてきました。



おすすめは「カツカレー」「煮付」「かつ丼」だよ！



ほんとにボリュームがすごくてお腹いっぱい食べられますよ。オードブルもいつも「みどり屋食堂」に注文していました。今も家族でよく食べに行きますよ！



「がちまやあ」を作成するにあたり、お忙し中お話を
お聞かせください、ご協力ありがとうございました。



キャリアスタートウィーク(6/26~6/27)

今年は宜野湾中学校から3名の生徒が職場体験にやってきました！



慰霊の日写真パネル展
～沖縄戦の中の宜野湾への
説明を受ける様子

佐藤 優人さん

二日間職場体験をして、戦後の宜野湾の様子や、沖縄の時代の流れや、使っていた道具などがわかりました。また他の博物館にも興味がわいてきました。色々な事を知ることができとても楽しい職場体験になりました。

平良 桜介さん

博物館の仕事は、展示品を守るために裏の仕事が大変で毎朝湿度まで管理していく、そこまでして守っているのでスゴイと思いました。職場や来館者に挨拶することも大事だと感じました。収蔵庫では見たことがない物を見ることができ、楽しかったです。

仲宗根 徹さん

職場体験を通して色々な事を体験しました。館内見学、搬入口の片付け、水槽清掃、リュウキュウヤガメの世話などです。そして学んだ事で大切だと思ったことは挨拶です。この二日間を通して学んだ事を社会で生かしていきたいと思います。

館長挨拶



**宜野湾市立博物館
館長 千木良 芳範**

令和元年6月1日、市立博物館は開館20周年を迎えました。宜野湾の自然、歴史、文化について再発見し、新たな学びの拠点として、様々な博物館サービスを提供してきましたが、ここでは主に企画展と博物館講座を中心に、博物館活動の20年を振り返ってみます。

企画展は、博物館の主要事業の一つとして開館当初は年に2~3回の開催でした。平成17年から5回と増加し、平成24年と25年には年8回開催と充実していきます。しかしながら、職員数や業務量との兼ね合いで、現在は年6、7回の開催で落ちています。一方で、わらば～体験じゅくのように、開館時から継続している講座もありますが、一般向けの博物館講座は開館当初は年2~4回の開催でした。平成20年のこども博物館講座のスタートを機に、翌年には一般向け講座を市民講座として整理し、コンスタントに年9回を開催するようになりました。さらに平成29年からは室内講座と野外講座の二本立てにして、年間開催数も17回とさらに充実させています。現在では、わらば～体験じゅく、こども博物館、市民講座と合計すると、年間29回の開催となっています。

こうした博物館の活動が、時間をかけて多くの市民に浸透していったことから、2017年には博物館の利用者が初めて20,000人を超えて、さらに2018年には30,000人を突破しました。二十歳になった市立博物館、大人になっても「わらば～心」は忘れずに、これからも成長していきます。



大城 博美 (市史編集担当嘱託職員)

今年4月から、市史編集担当嘱託員として宜野湾市立博物館にて仕事をしています。伊佐浜土地闘争に関するビジュアル版の発刊に向けて、日々研鑽を積んでいるところです。

知っているようでもよく知らない「沖縄の戦後史」について、分かりやすいビジュアル版の作成を目指して頑張ります。よろしくお願ひいたします！！

中村 圭吾 (学芸担当嘱託職員)

4月から勤務している、学芸担当の中村と申します。市民講座やぎのわんの字展を担当します。数年前、市立博物館にお世話になっていましたが、以前やっていたことを思い出しながら仕事に励む日々を送っております。市民講座等を通して、博物館の活動を周知し、また、市民の皆様の学びに貢献できれば幸いです。どうぞよろしくお願ひします。



千木良 芳範 (博物館館長)	平敷 兼哉 (主幹兼学芸係長)
伊藤 圭 (主任主事)	我如古 香 (学芸担当嘱託)
中村 圭吾 (学芸担当嘱託)	西田 愛華 (学芸担当嘱託)
大城 博美 (市史編集嘱託)	比嘉 三紀子 (市史編集嘱託)

今年も宜野湾市立博物館
をよろしくお願いします。



令和元年度 年間行事カレンダー

企画展

市民講座

【春の企画展】**移り変わる街の風景**

～写真にみる、宜野湾あの道、この道～展
4/24(水)～6/2(日)

【慰霊の日写真パネル展】

沖縄戦の中の宜野湾
6/12(水)～7/7(日)

終了しました

【博物館開館20周年記念企画展Ⅰ】

化石展 ー土の中からお宝発見！ー
7/24(水)～9/22(日)



【小・中学校連携展】

第28回 ぎのわんの文化財図画作品展
10/5(土)～10/20(日)

【ぎのわん教育月間関連・開館20周年記念企画展Ⅱ】

変わりゆく街並み ー西普天間の移り変わりー
10/30(水)～12/22(日)



【地域との連携企画展】

ぎのわんの字あざ展～普天間編～
1/22(水)～3/1(日)



みなさんのご来館をお待ちしています♪

【開館20年記念講演】

6/2(日) 琉球王国時代の宜野湾

講師：高良 倉吉（琉球大学名誉教授）

6/16(日) 語やびら、イガルーシマ～神山編～

講師：神山郷友会のみなさん

7/7(日) 宜野湾、戦跡めぐり〈野外講座〉

講師：平敷 兼哉（市立博物館学芸担当主幹兼学芸係長）

7/14(日) ぶらっと、博物館めぐり〈野外講座〉

講師：上地 克哉（ユンタンザミュージアム 文化振興課長）

7/28(日) 生きた化石の話

講師：佐々木 健志（琉球大学博物館「風樹館」学芸員）

8/11(日) 化石が語ること

講師：大城 逸朗（おきなわ石の会会長）

9/1(日) マース（塩）の話

講師：儀間 淳一（沖縄国際大学非常勤講師）

9/15(日) 大山の自然観察 〈野外講座〉

講師：千木良 芳範（市立博物館館長）

10/20(日) 泡盛の話ー宜野湾と酒あれこれー

講師：萩尾 俊章（県教育庁文化財課史料編集班主任専門員）

10/27(日) 収容地をめぐる～南部編～ 〈野外講座〉

講師：仲村 元惟（宜野湾市史編集委員会委員）

11/17(日) 西普天間の発掘調査から

講師：仲村 毅（宜野湾市教育委員会）

12/1(日) 伊佐浜の土地闘争

講師：鳥山 淳（沖縄国際大学教授）

12/8(日) 涌き水めぐり 〈野外講座〉

講師：伊藤 圭（市立博物館主任主事）

1/26(日) 漆の歴史と技法

講師：漆実験工房

2/2(日) 冬の森川公園散歩

講師：千木良 芳範（市立博物館館長）

1/26の受講者の
中から先着順です。

2/9(日) 漆の技法体験

講師：漆実験工房

2/16(日) 普天満宮と普天間

講師：新垣 義夫（普天満宮宮司）

宜野湾市立博物館

〒901-2224 宜野湾市真志喜1-25-1
TEL: 870-9317 FAX: 870-9316

■入館料：無料

■開館時間：午前9時～午後5時（入館は午後4時30分まで）

■休館日：毎週火曜日、祝祭日、年末年始（文化の日、慰霊の日は開館）

※火曜日と祝祭日が重なる場合は、翌日の水曜日も休館になります。

